

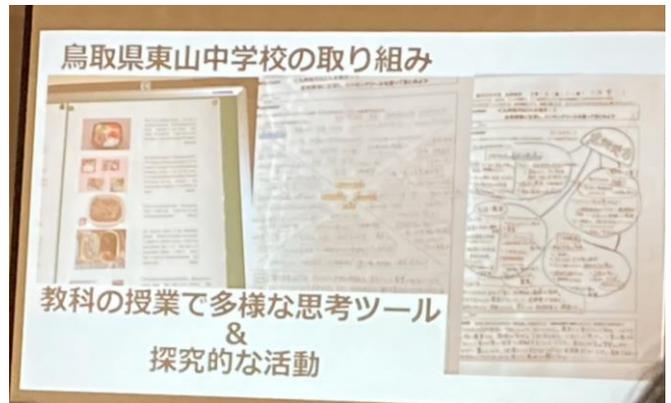
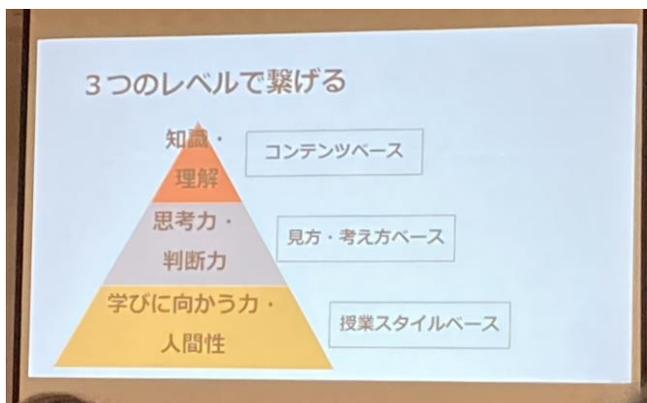


・令和4年度「大槌の教育」推進協議会全体研修会 その②

島根大学教職大学院中村怜詞准教授の講演では、「ふるさと科」等  
どう実践していけばよいか先生方が試行錯誤して取り組んで  
くださっている「探求的な学び」について、明日から子ども  
たちの探求にどう伴走していけばよいかという視点で、ご示  
唆をいただきました。



ぼくは、おにぎり🍙の話が気になるなあ  
思考ツールは大槌の子どもたちも使ってるね♡



- ・探究学習を行う上で小中高のどの段階でも同じような課題があることがわかりました。思考力を育むため、生徒に与える問いを効果的にするため、我々も考えていかなければいけないと実感しました。
- ・抽象化思考力(共通点・相違点探し)、問題解決思考力(実験手法・結果に関する問い、データを読み取る問い)、具体化思考力(学習内容をもとにした主体的な調べ学習)の3つを、授業にしっかりと組み込み、生徒たちに思考させる時間をつくる必要があると感じた。
- ・問いかけの仕方で、生徒の思考力への刺激も変わってくるということを感じました。どのような問いかけ、課題を持つか、生徒とともに教員も考えて成長していく必要性を考えさせられました。
- ・さらに探究的な学びを深化させていくためには、児童生徒が素直に物事を受け入れるだけでなく、あらゆる角度から、自分で自分に問いかけること促していけばよいかと思います。次年度の研究重点の1つは、児童生徒が自らの「気づき」を自覚し広げていくことを教科横断的に行うことです。頑張ります。

参考

「抽象化思考力」を高めるためには、抽象化を促す言葉「共通点は」「要するに」「簡単に言うと」「つまり」「一言でいうと」などを使う訓練が必要ということは、普段の授業でも、発達段階によって、子どもたちが考えを発信するための「言葉」を使える力をつける訓練が必要ではないでしょうか。裏に、4年前、宮古市立千徳小学校の3年生を担当された小笠原佳之先生の実践例を紹介します。3年生の段階で、これだけの言葉を子どもたちが使えれば、どんな授業になるのでしょうか？

ト

①どんな考えをつかった

# みんなで発明した発表言葉

リベンジします ・····を片かえて ・気づいたことが ・··にいつ間が··

つなげます！ <たいてきに·· ·言葉をかえます ·ひょうげんします

··がよく分かりません ·たとえば ·かんたんに ·かつようします！ ·ちがうところを·

だったら ·····の願にのって ·算数のことばを ·つまり··

わけを·· ·····そうだんタイムを·· ·まとめます！ ·同じところを·

けつろんを·· ·····に意見が·· ·くわしく·· ·けずります ·だって··

グループに分けて ·ちがうわけが·· ·もしも·· ·考えをかえます

·····ということは·· ·····がらっていること ·くらべます

あっそっか！ ·なるほど！ ·たしかに！ ·なっとく！

あ~ ·····さういふこと··

1年かけて、子どもたちから出てきた発表言葉をまとめたものです。